開 講 専 攻	生物工学専攻	前橋工科大学　シラバス			
科　目　名	インターンシップ	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		１年次	選択	37003401/37003402	
担当教員	生物工学専攻全教員	単位数	学　期	曜　日	時　限
		２単位	前期/後期		集中

授業の教育目的･目標	大学院の学生に求められる能力の一つに現場の問題への解決能力がある。生物工学の特定の専門的な分野、すなわち、食品、医薬、農学などの分野における特定の技術を用いて実施している研究開発現場や、それらを利用している工場、施設、生産ラインなどで実際に問題となっている事柄を調査・発見し、工学的にその問題点を整理し、それを実際に解決する手順を計画し、現場の担当者と協力しながら解決していくプロセスを体験させる。 講義などで習得した工学的技術を、問題発見につなげ、論理的かつ合理的に解決していく方法を実例を通して習得させる。
専攻の学習･教育目標との関係	専攻で実施している専門科目や特別演習、特別研究とは異なり、実践力・提案力について現場で発生している問題を通して、その解決する過程を経験する。
キーワード	現場実習、体験型授業、インターンシップ
授業の概要	実習現場により課題が異なるので、実習期間は２週間から数か月に及ぶ場合もある。ただし長期のときには適宜研究室に持ち帰って検討する。全担当教員が毎回指導に当たる。
授業の計画	①自己紹介 実習先の理解を得るため、事前に自己紹介書を作成する。出来るだけ具体的な内容とする。 ②計画書作成 担当教員と学生は実習先の企業と実習期間中の学習目標を話し合う。 ③インターンシップに関する覚書の確認 実習先担当者に大学側で用意した所定の書式に記入してもらい､その内容を担当教員と学生は確認する。 ④指導担当者による実習評価表 担当教員は提出書類をチュックし、学生とヒヤリングを行い、情報を正確に把握する ⑤成績評価について インターンシップ成果発表会での質疑応答および指導担当者による実習評価表を元に専攻主任が総合的に判断し、評価を行う。
受講条件・関連科目	受講を希望する場合は、インターンシップの希望先候補など、事前に相談すること。
授業方法	課題について、各自、主体的に調査・回答を行う。
テキスト・参考書	必要に応じて資料を配布する。
成績評価	インターンシップ成果発表会での質疑応答および指導担当者による実習評価表を元に専攻主任が総合的に判断し、評価を行う。
履修上の注意	社会人として身につけるべきモラルやコミュニケーション､業務に対応した注意事項などの作業日誌を作成する。